

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	くさぶえの家	評価対象年度	平成24年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 長谷川 恵司 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	障害計画課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	生活介護(定員24名) 契約者数 28名(平成25年3月31日現在) 自立訓練(定員 6名) 契約者数 2名(平成25年3月31日現在)		
収支実績	収入 就労支援事業活動 5,838,168円 受託加工事業 5,838,168円 福祉事業活動 95,344,129円 自立支援費等 93,821,531円 経常経費補助金 271,331円 (指定管理料を含む) その他 1,251,267円 合計 101,182,297円	支出 就労支援事業 5,294,615円 福祉事業活動 95,887,682円 人件費 55,355,307円 事務費 16,603,187円 事業費 4,315,250円 経理区分間繰入金 19,613,938円 施設整備等 0円 合計 101,182,297円	収支差額 0円 ※指定管理料 115,290円
サービス向上の取組	市内唯一の自閉症専門施設として、障害特性に配慮した支援で個別のニーズに対応したプログラムを実施し、自閉症者の地域での自立した生活を目指した事業を行っている。		

3. 評価 (評価段階:5~1.標準:3.加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・生活介護について、利用者の障害特性の把握に努め障害特性に配慮した作業プログラムを提供している。 ・自立訓練については、宿泊訓練や調理実習等を通じて、利用者の参加意欲が感じられるようになり、家族からも生活スキルの高まりを評価されるようになっている。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
(評価の理由) ・収入については、障害程度区分の高い利用者を多く受け入れることによって安定した給付費収入があり、支出については、照明をLED化し節電する等節約に努めており、経営状態は大変安定している。 ・会計処理について、職員が法人の行う社会福祉法人新会計基準の講習会に参加しており、適正に会計処理している。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	3	6
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行ってているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由) ・利用者満足度調査の結果に基づいて利用者へのサービス向上のため課題解決にも取り組んだ結果、本年度の調査では昨年度以上の結果が得られた。 ・地域サービス事業として、くさぶえ文庫、講演会などを実施し、自閉症者社会自立促進事業として、退所者に対して企業や家庭の訪問を行っている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	3	3
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3
(評価の理由) ・資質の向上のため、全正規職員を対象とする階層別の研修のほか自閉症の専門施設として必要な研修を始めとして、虐待防止に関する研修等の多くの研修会に出席している。 ・事故の発生時には、施設の「くさぶえの家事故対策フロー」に基づいて対応している。また、ヒヤリハットの把握に努めミーティングで職員間で共有し事故防止の意識向上を図っている。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) ・各種保守、点検等について、適切に行われている。 ・環境整備担当を設置する等、日頃から施設内外の清掃や防犯等について努めている。					

4. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点、標準点:60点

評価ランク:A～E、標準: C,A→90点以上,B→80点以上90点未満,C→60点以上80点未満,D→40点以上60点未満,E→40点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・自閉症者に対する支援については、市内の中で指導を行う立場にあり、地域に暮らす自閉症者・家族に対する相談等の支援や市民への啓発活動で大きな役割を果たしている。 ・利用者それぞれの障害特性を把握し、障害特性に配慮したプログラムを提供している。 ・連絡帳の充実など利用者や家族からの意見・要望が活発に出せるような環境づくりを行っている。
--

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・本年度は開催されていない地域の自閉症者を対象とした短期訓練等創意工夫した地域サービス事業を充実すること。
